

「富の創生」宣言

背景

ローザンヌ運動と BAM (Business As Mission) Global は 2017 年 3 月、包括的変革における富の創生の役割についてのコンサルテーションをタイのチェンマイで開催した。世界 20 カ国、約 30 名の参加者の多くはビジネス業界出身者で、その他教会、宣教団体や学術研究機関から集まった。コンサルテーションの成果は論文、書籍、ビデオとして発行される予定である。この宣言は、今回のコンサルテーション開始前と期間中に交わされた討議内容の要点である。

確認事項

1. 富の創生は創造主なる神の存在に根ざすものである。なぜなら、創造主なる神ご自身がその豊かさと多様性に満ちた世界を創られたお方だからである。
2. 私たちは神の似姿に創造され、神に仕える協働者として、社会にとって益となる製品とサービスを生み出す存在として召し出されている。
3. 富の創生は聖なる召命であり且つ神から備えられた賜物である。それは聖書が推奨していることである。
4. 富を創生する者は教会によって肯定的に支持され、すべての民と国々の職場で仕えるために整えられ、遣わされる必要がある。
5. 富をため込むことは間違っており、富を共有することこそ奨励されるべきである。但し、富が創生されない限りは共有される富も存在しない。
6. 寛大さは普遍的な召命であり、今あるもので満足することは美徳である。しかし、物質面で質素な生活を送ることは個人的な選択であり、本人の意に反して生じる貧困は常に緩和されるべき課題である。

7. ビジネスによる富の創生は、その富を寛大に献げることが奨励されるものではあるが、その目的はそれにとどまらない。健全なビジネスは、社会に必要な物資を供給する手段として本来備えられた大切な価値を持っており、同時に社会において実質的な変革をもたらす主体である。
8. ビジネスには経済的な富を生み出す特別な力があるが、同時に社会的、知的、物質的、そして霊的な富をも含めて、多くの利害関係者にとって益となる多種多様な富を生み出す潜在的な力もある。
9. ビジネスによる富の創生は、人々と国々を貧困から救い出してきた実績を持っている。
10. 富の創生は常に正義と貧しい人々へ配慮の下に追求されるべきものであり、その国特有の文化的背景に対して格別な注意を払うべきものである。
11. 被造物をケアすることは任意ではない。被造物を管理することと、ビジネスを通して環境問題を解決することとは、ビジネスによる富の創生において相互に補完し合うものとなるべきである。

要請事項

私たちはこれらの確認事項を、世界の諸教会、特にビジネス、教会、政府、そして学術機関における指導層に向けて提示する。

私たちは、富の創生が人々とその社会の包括的な変革という私たちの宣教において、中心的な役割を果たしうるものとして受け止めるよう諸教会に求める。

私たちは、この目的のために、富を創生する人々を整え、世に広く遣わすための継続的な努力をするよう求める。

私たちは、富を創生する人々が絶えず忍耐をもち、神と人々に仕えるために備えられた神の賜物を十分に用いるよう求める。

神の偉大なる栄光のために。

May 2017